

一般社団法人 大牟田薬剤師会

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度
I 資産の部	
1. 流動資産	
預金現金	7,465,376
未収金	24,800
流動資産合計	7,490,176
2. 固定資産	
(1)基本財産	
基本財産合計	0
(2)特定資産	
特定資産合計	0
(3)その他固定資産	
敷金	244,500
その他固定資産合計	244,500
固定資産合計	244,500
資産合計	7,734,676
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払費用	501,493
預り金	5,083
流動負債合計	506,576
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	506,576
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
2. 一般正味財産	7,228,100
正味財産合計	7,228,100
負債及び正味財産合計	7,734,676

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取入会金	
受取入会金(B会員 @ 5,000 × 8名)	40,000
受取会費	
A会員会費 (@ 17,500 × 69名)	1,207,500
B会員会費 (@ 7,000 × 87名)	609,000
保険薬局会費	6,134,974
新入会員会費(@ 7,000×3名、@ 3,500×5名)	38,500
受取会費計	7,989,974
事業収益	
運営協力金	4,404,200
受講料収入	73,000
申請料負担金収入	16,973
補助金収入	30,000
雑収入	7
事業収益計	4,524,180
受取補助金等	
受取民間補助金	230,500
雑収益	
受取利息	2,599
お薬手帳収入	202,730
図書・用品収入	47,090
雑収益	48,123
雑収益計	300,542
経常収益計	13,085,196
(2) 経常費用	
事業費	
給料手当	3,430,185
法定福利費	34,828
福利厚生費	104,595
事業活動費	931,660
通信費	532,848
備品消耗品費	9,005
事務消耗品費	27,216
水道光熱費	5,375
賃借料	144,000
保険料	14,730
諸謝金	12,273
支払負担金	55,000
図書研究研修費	30,860
リース料	7,594
広告掲載料	23,200
会場使用料	29,492
保守料	41,580
雑費	38,603
事業費計	5,473,044

科 目	当 年 度
管理費	
役員報酬	0
給料手当	2,667,715
法定福利費	207,359
福利厚生費	116,500
交際費	259,820
旅費交通費	42,930
通信費	401,743
備品消耗品費	96,865
事務消耗品費	141,678
賃借料	1,159,920
保険料	37,400
租税公課	21,394
支払負担金	170,000
支払寄付金	10,000
リース料	124,740
管理諸費	524,282
県業事業協賛金	257,200
広告宣伝費	39,960
総会等費	528,632
代議員会費	44,480
理事会費	555,000
会場使用料	7,878
諸活動費	410,180
図書研究研修費	47,052
諸団体地区活動費	35,000
雑費	290,321
管理費計	8,198,049
経常費用計	13,671,093
評価損益等調整前当期経常増減額	-585,897
当期経常増減額	-585,897
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	-585,897
当期一般正味財産増減額	-585,897
一般正味財産期首残高	7,813,997
一般正味財産期末残高	7,228,100
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	7,228,100

監査報告書

平成 29 年 4 月 10 日

一般社団法人大牟田薬剤師会
会 長 橋本 和樹 殿

監 事 西山 典人 

監 事 鵜生 康弘 

私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの付属明細書）、財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上